

分類：基礎医学アドバンスコース

授業科目名：生体防御学（Immunology）

対象学年：2年次選択

時間割コード：71564002

開設学期等：第31週～第31週

単位数：1

1. 主任教員

石井 聡（教授、生体防御学講座、6089、オフィスアワー：8:30-17:00）

2. 担当教員

石井 聡（教授、生体防御学講座、6089、オフィスアワー：8:30-17:00）

安田大恭（講師、生体防御学講座、6090、オフィスアワー：8:30-17:00）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

ねらい

コアカリキュラムで修得した免疫学の知識を基本にして、最近の免疫学研究のトピックスを学習する。

生理活性脂質が関わる免疫研究についても学ぶ。

また、関連するプロフェッショナリズム、医の倫理、医療安全、医療法（制度）、EBMについて学ぶ。（1-1～1-2, 2-1～2-6, 2-8, 3-1～3-7, 4-1～4-7, 5-1～5-4, 6-1～6-2）

概要

1. 免疫学研究の基礎について説明できる。

2. 最新の英語原著論文を読み、適切に発表することができる。

3. 関連するプロフェッショナリズム、医の倫理、医療安全、医療法（制度）、EBMについて説明できる。

4. 教科書・参考書

5. 成績評価の方法

出席、課題の発表により行う。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

受け入れ予定学生数：20名程度

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	12月4日 (月)	3-8 時限	講義	テーマ：リンパ球のシグナル伝達 免疫学の講義では言及しなかった T 細胞受容体が活性化された際の細胞内シグナル伝達を解説する。	石井 聡	
2	12月5日 (火)	3-6 時限	講義	テーマ：脂質の医学研究 脂質に関わる疾患に広く注目して、発症機序と治療薬の作用機序などを解説する。 対象疾患は免疫系に限らない。	石井 聡	
3	12月6日 (水)	3-4 時限	講義	テーマ：基礎医学研究の仕事 基礎医学研究という仕事について、動物実験や論文作成過程を中心に説明する。	安田大恭	
4	12月6日 (水)	5-6 時限	講義	テーマ：G タンパク質共役受容体 (GPCR) と基礎研究 GPCR と創薬について簡単に説明し、脂質をリガンドとする GPCR を例に基礎医学との関わりを解説する。	安田大恭	
5	12月6日 (水)	7-8 時限	講義	テーマ：マウスの取り扱い 免疫学的な実験手法、各種遺伝子改変マウスについて説明ができる。 マウスの取り扱いができる。	安田大恭	
6	12月7日 (木)	3-4 時限	講義	テーマ：基礎医学研究の実験手法 基礎医学研究における代表的な実験の方法や原理、進め方について説明する。	安田大恭	
7	12月7日 (木)	5-6 時限	講義	テーマ：近年の免疫学研究 免疫に関連する医学研究について、近年に報告された論文を幾つか取り上げて説明する。	安田大恭	
8	12月7日 (木)	7-8 時限	実習	テーマ：マウスの解剖 免疫学的な実験手法、各種遺伝子改変マウスについて説明ができる。 マウスの取り扱いができる。	安田大恭	
9	12月8日 (金)	1-8 時限	講義	テーマ：英語論文輪読 最新の英語原著論文を読解できる。 他の人の発表に対して質問や意見を行うことができる。	石井 聡	